

平成24(2012)年知事年頭所感

大阪府知事 松井 一郎

昨年は、東日本大震災という未曾有の災害が発生し、多くの方がお亡くなりになりました。そして、被災された方々は、年が明けましても、辛い状況の中、生活されていることと思います。改めてお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興が進みますよう、また、日本が元気になりますよう、大阪ができることに全力で取り組んでいきたいと、年の初めにあたり、思いを新たにしています。

私は、昨年11月、「大阪を変えてほしい」「大阪を再生させてほしい」と願う多くの府民の皆様のご支持をいただき、大阪府知事の重責を担わせていただくこととなりました。

知事として私がめざす大阪像は、府民が誇れる「強い大阪」、暮らしやすい「やさしい大阪」です。

現在、大阪経済や府民の暮らしは厳しい状況にあります。この現状に対する危機意識をしっかりと共有した上で、まずは、大阪の成長を成し遂げる取り組みを進めます。将来にわたって府民に必要なサービスを持続的に提供するためにも、府民の所得を上げ、税収を上げることが必要です。大阪という都市が、日本やアジアの中で存在感を増し、ヒト・モノ・カネを引き寄せる「稼げる」都市として発展し、その「稼ぎ」を、社会的に弱い立場の方々へのセーフティネットを築いていくことをはじめ、府民の安心・安全のための基盤づくりに投入していく、こうしたサイクルを大阪で実現したいと考えております。これには相当な努力と従来を超えた大胆な発想やチャレンジが必要となりますが、大阪の成長を成し遂げるべく懸命に取り組んでまいります。そして、誰もが安心して暮らせる大阪をつくっていく。これが、私の考える大阪再生の道筋です。

大阪には、大阪府庁と大阪市役所の間に立ちふさがってきた「見えない壁」があり、これによって、長年の間、都市としての一体的な発展が阻害されてきました。私は、府民の皆様「壁を取り払ってほしい」という思いを真正面から受け止め、新たな大都市制度をこの大阪で実現させることに努めてまいります。

地域のことは地域で決める。国ではなく、住民に最も近い地方自治体が、地域の実情に即して、自ら主体的に判断し決定できる体制。これが地域主権の本来の姿です。そして、大阪の再生のため、大阪のことは大阪で決める。制度や仕組みそのものを大阪から創り上げ、全国に発信していく。府民の皆様のご理解もいただきながら、「府市統合本部」において、府と市の類似事業の仕分け、広域行政の一元化など、府と市の間課題整理等に精力的に取り組むとともに、国や地方制度調査会にも働きかけを行うことにより、大阪にふさわしい自治の仕組みの実現をめざします。

併せて、関西の各府縣市との連携・協調をさらに深めていきたいと考えています。発足後1年余り経過し、大きな成果を挙げている関西広域連合の場を大いに活用して、産業振

興やエネルギー政策、広域インフラ整備など、関西全体の広域的なテーマに取り組んでまいります。

景気低迷の影響により、引き続き、極めて厳しい財政状況の下での府政運営が予想されますが、次世代に負担を先送りしないためにも、財政規律をしっかりと維持することが求められます。その上で、「選択と集中」を通じて、限られた財源や人員等の重点化を図り、将来の大阪を見据えた府政を戦略的に推進してまいります。

また、府政運営の基盤は、府民の皆様からの信頼にあることは言うまでもありません。信頼に基づく府政実現に向け、府政に関する情報が府民の皆様にきちんと届くよう、良い情報も悪い情報も包み隠さずオープンにしていきます。

私の政治家としての信条は、「信念と覚悟」です。信じる道をとことん貫く。その過程では、様々なあつれきが生じますが、それを乗り越えてこそ、新たな地平が拓けます。大阪を変えることは、日本を変えること。その目標に向かって、ただひたすら前進してまいります。

皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたしますとともに、本年が皆様にとってよりよき年となりますよう心からお祈りします。